

まちの話題



北海道日本ハムファイターズ
北見市応援大使トークショー

大活躍の2人が北見に！

北海道日本ハムファイターズ「2019北海道179市町村応援大使」として、今季、目覚ましい活躍を見せた有原航平選手・公文克彦選手が、11月20日、北見のファンと触れ合う1日を過ごしました。

市内の学校を訪問し球児とキャッチボールなどで交流した2人は、芸術文化ホールでのトークショーに参加。北見市観光大使のHBCアナウンサー・山内要一さんの進行によるトークショーでは、2人の来季に向けての抱負などが語られ、詰めかけた500人の来場者を沸かせました。



端野自治区チャリティー芸能発表会

練習が結実するステージ

11月23日、端野町公民館にてチャリティー芸能発表会が行われました。

ステージでは6団体約60人が出演し、歌謡、民謡、舞踊など日頃の練習の成果を披露。会場内には観客からの大きな拍手が響き渡っていました。

また、来場者から募った寄付金は北見市社会福祉協議会端野支所に贈呈されました。



オレンジカフェぼたん
(認知症カフェ)

地域のつながりを大切に

11月26日、多機能ホームゆうゆうぼたん園でオレンジカフェぼたんが開催されました。

今回は、認知症サポーターを含め町内会やグループホームなどから約30人が参加。

高齢者相談支援センターの職員より介護保険についての講座が行われた後、生活する上での悩みや不安を共有し、お茶を飲みながら語り合っていました。





さかえ保育園園児静楽園慰問

かわいい踊りの贈り物

11月20日、さかえ保育園の園児が養護老人ホーム静楽園を訪れ、踊りのプレゼントをしました。

保育園児による慰問は毎年行われ、この日は園児17人が踊りを披露。

元気よくあいさつをした後、かわいらしい衣装に身を包んで一生懸命に踊る園児たちを、ギャラリーは目を細めて見守り、大きな拍手を送っていました。



るべしベ寿大学祭

日頃の学習成果を披露

11月20日、第11回るべしベ寿大学祭が留辺薬町公民館で開催されました。

大学祭には、北見、端野、常呂の高齢者大学の学生も参加し、総勢 220 人が来場。ステージではファッションショーやカラオケ合唱などが行われ、にぎやかな舞台となりました。

また、小ホールでは手芸や書道などの作品展が催され、訪れた学生を楽しませていました。



映画「100年ごはん」上映会

監督を囲んで食の未来を語る

11月23日、常呂町公民館で、大分県臼杵市の有機農業の取り組みを追ったドキュメンタリー映画「100年ごはん」の上映会と、映画監督・大林千栄莟さんとの意見交換会が開催されました。

実行委員と常呂の農水産物を使った弁当を作り、参加者に提供した大林監督は「常呂の食材は素晴らしい」と絶賛。100人の参加者と「未来につなげたい食」について語り合いました。



常呂厚生病院市民公開講座

いつまでも元気でいるために

11月23日、常呂厚生病院が年に一度の市民公開講座を開催し、約40人が参加しました。

内科医の千石副院長が講師となり、認知症の仕組みや元気で過ごすコツについて講演。認知症と老化による物忘れの違いの説明のほか、「食を食べること、運動すること、しゃべることが大切。外へ出掛け、ストレスを発散できる場を見つけましょう」と参加者に助言しました。

